

平成30年度 事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 20 日

事務事業名		県清掃協議会参画事業		事業区分		担当	
				新規/継続		事務事業No. 050702000217	
				単独/補助		030301	
政策体系上の位置付け				主要事業		所属課	
総合計画の施策名		0507 廃棄物の抑制と適切な処理		市長マニフェスト		生活環境課	
政策名		05 快適な暮らしのまちづくり		未来PJ事業		グループ	
施策名		07 廃棄物の抑制と適切な処理		合併建設計画事業		環境公害対策G	
手段名		02 ②分別収集と適正な処理		事業期間			
財務会計上の位置付け				単年度繰返し (年度~)			
予算科目		会計 款 項 目 事業 細		一般会計			
01 04 02 01 01 00				清掃総務事業		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】</p> <p>県内の市町村が会員となり、清掃事業に関する知識と技術の向上を図ることを目的に、研修会・講演会の実施。清掃事業に関する調査・研究・情報・資料等の収集交換等が実施されている。</p> <p>昭和35年茨城県清掃協議会設立。</p> <p>【担当が行う業務内容】</p> <p>県内全市町村のゴミ処理状況の把握。総会への出席。</p> <p>【事業費の内訳】</p> <p>負担金</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総会、研修会への出席 ・負担金の執行

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
各種研修会への参加や視察研修などへの参加。 負担金の支払いなど	総会、研修会への出席	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	負担金の執行	千円	21.00	21.00	21.00	21.00	21.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
茨城県清掃協議会会員	県内市町村、事務組合数	会員数	57.00	57.00	57.00	57.00	57.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
情報の共有や最新情報の把握	ごみの排出量	t	9,300.00	9,250.00	9,200.00	9,150.00	9,100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	項目	単位	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量
					(実績)	(実績)	(計画)	
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	21	21	21	21
			事業費計 (A)	千円	21	21	21	21
人件費	人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		
		述べ業務時間	時間	14.00	14.00	14.00		
		人件費計 (B)	千円	41	41	41		
トータルコスト (A)+(B)				千円	62	62	62	

事業費の内訳	29年度事業費 実績 (千円)		30年度事業費 予算 (千円)	
	金額	比率	金額	比率
19 負担金補助及び交付金	21			
合計	21			
合計				21

(4) 当該年度の実施内容

30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 		

事務事業名	県清掃協議会参画事業	事務事業No.	50702000217	所属課	生活環境課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

昭和35年に協議会が設立され、その趣旨に賛同して参加した経緯がある。
適正処理困難物、災害時における廃棄物処理、容器包装リサイクルなどの対応が市町村に求められている。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

特になし

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	廃棄物の適正処理は重要な施策であるため。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	清掃事業の円滑な推進には、常に情報を把握することが必要不可欠である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	会員として参加しているため、向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	情報や意見交換の場が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	他に情報を入手する手段がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	最低限のコスト負担である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	負担金は、人口割及び均等割りにて算出しているため、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○	×																				
	維持			×																				
	低下			×																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果 ⑧																								
コスト削減優先度評価結果 ⑥																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>